



本稿は、非文字資料としての演説の特徴と分析方法について、ごく限られた範囲について基本的な論点を指摘したにすぎない。これまでの成果を踏まえ、今後は演説研究の普遍的かつ体系的な分析方法の確立を目指し、演説という視点を通じて新たな歴史像を再構築していきたいと考えている。

**〈参考文献〉**

- ・高野宏康「演説のちから一戦前期の金沢における永井柳太郎の政治活動―」『歴史民俗資料学研究』第12号、2007年3月。
- ・高野宏康「雄弁家としての永井柳太郎―四つの演説論の分析を中心に―」『歴史民俗資料学研究』第13号、2008年3月。



『オバマ演説集』（朝日出版社、2008年）表紙

## 海外研究機関との提携

非文字資料研究センターでは、非文字資料にかかわる学術情報の交換を行うとともに、国際的な感覚を有する次世代の若手研究者の育成を目的とした研究者派遣・招聘事業を行うために、海外の研究機関との交流・提携事業を進めています。2008年度には下記6つの研究機関と提携を結びました。

### 2008年度の提携機関

中 国	北京師範大学文學院 民俗学与文化人類学研究所 華東師範大学 中国民俗保護開發研究中心 浙江工商大学 日本文化研究所 中山大学 中国非物質文化遺產研究中心
カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学 アジア学科
ブラジル	サンパウロ大学 日本研究所

## 奨励研究制度

非文字資料研究センターでは、非文字資料に関する研究者の育成を大きな目標として掲げ、独自の奨励研究制度を設けています。本制度は、世界的な研究拠点として、世界に通用する研究者育成のため研究費の支援を学内公募によって行うものです。審査の結果、2008年度は以下3名の研究が採択されました。

**研究課題**

のぞきからくり  
西日本の民家における土地神の信仰の分析  
『一遍聖絵』の図像学

**氏名（所属）**

坂井 美香（歴史民俗資料学研究科博士後期課程）  
三村 宜敬（歴史民俗資料学研究科博士後期課程）  
佐々木弘美（歴史民俗資料学研究科博士後期課程）

## ホームページ開設予定

非文字資料研究センターのホームページが開設される予定です（3月下旬）。

<http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>